



第1297・1298号
No.33,34
2026年5月12日



2025-26年度 国際ロータリーのテーマ

UNITE FOR GOOD

「よいことのために手を取りあおう」

RI会長 フランチェスコ・アレツォ

2025-26年度 東京恵比寿ロータリークラブのテーマ

「五感でロータリーを楽しもう」

Let's enjoy Rotary with all your senses

会長 徳江 陽子

5.12 本日のプログラム

イニシエーションスピーチ

川森 拓巳 会員 宮本 英義 会員

今後のプログラム

- 5月19日 卓話「感動分岐点を超越する園作り
～感動をお渡しするために～」
(公財)浜松市花みどり振興財団 理事長 塚本 こなみさん
@ ガーデンホワイ
- 5月26日 クラブ協議会(第2回) @ ウェスティンホテル東京 楓
- 6月 2日 イニシエーションスピーチ
本地 晶子 会員 野々宮 憲彦 会員
@ ウェスティンホテル東京 桜
- 6月 9日 卓話
米山記念奨学生 グエン・ブハ・アインさん
@ ウェスティンホテル東京 桜

例会出席者数

4月14日 第1339回例会

ゲスト

Guest

阿刀田 高さん(ゲストスピーカー)
ホ・ヨンジュさん
田辺 英之さん
本地 大輔さん
岡崎 哲郎さん

ビジター

Visitor

小林 厚さん(大阪うつほRC)
堀井 健一さん(東京六本木RC)

奨学生

Student

グエン・ブハ・アインさん(米山記念奨学生)

出席報告

ゲスト・招待	5名
国内ビジター	2名
米山記念奨学生	1名
出席者数	49名

皆出席表彰

1年皆勤者

安藤 邦子 会員	伊藤 千恵 会員	稲生 有伎子 会員
稲生 奈穂子 会員	大島 路恵 会員	河合 克美 会員
橘高 薫子 会員	佐竹 律香 会員	徳江 陽子 会員
平山 佐知子 会員	湯野川 恵美 会員	安藤 博章 会員
尾形 偉幸 会員	神山 欣也 会員	神谷 一雄 会員
川中 清昭 会員	木船 孝司 会員	熊崎 善夫 会員
黄 舜範 会員	鈴木 宏治 会員	武田 博史 会員
谷本 篤洋 会員	野村 元久 会員	松尾 通 会員
横町 俊智 会員		

5年皆勤者

黄 舜範 会員

30年皆勤者

伊藤 千恵 会員	松尾 通 会員	神山 欣也 会員
神谷 一雄 会員	野村 元久 会員	



昨年度の皆出席表彰がありました。代表して安藤邦子会員、黄舜範会員に、出席奨励委員会稲生奈穂子委員長から記念品が授与されました。

5月に誕生日を迎えられる会員の皆さん

5月 2日 藤原 峰之さん	5月13日 葉田 いつのさん
5月 4日 川森 拓己さん	5月14日 徳江 陽子さん
5月 8日 鈴木 宏治さん	5月14日 山岸 実さん
5月 9日 平山 佐知子さん	5月20日 森尾 稔さん
5月10日 花房 幸範さん	5月23日 楠野 寿也さん
5月11日 山東 昭子さん	5月24日 横町 俊智さん

卓

話

4.14.tue

THE ROTARY CLUB OF TOKYO EBISU

おもしろい読書を愛して

小説家の阿刀田高と申します。文章を書くことを生業(なりわい)にして、なんとなく生きてまいりましたら、いつの間にか90歳を過ぎてしまいました。親しかった友人知人がどんどんいなくなりまして、ちょっと寂しいというか、人生とはこんなものなのかなと思いを深くしています。「あいつは何を考えて生きていたのだろう」ということを眠れない夜によく考えております。

この間オリンピックがございましたが、ああいうところに出てくるスポーツ選手は子どもの時から掛けっかが速かったのだろうと思います。画家やイラストレーターで名を成す人も、子どもの時から絵がうまくて盛んに描いていたのではないかと思います。人は誰でも何かしらの特異な能力があります。小説家もやはり特異な能力を持っていないとやりにくい仕事だとは思いますが、私自身は子どもの頃に文章が好きだとか、文章を書くのがうまかったわけではありませんでした。日記を書かされても三日坊主でした。ただ思い返してみますと、本を読むことは好きでした。私の少年時代は大東亜戦争の真っ最中で、子どもの本など簡単に手に入りません。小学6年生ぐらいだったと思いますが、ラジオから流れてくる落語がおもしろくて、喜んで聞いていました。たまたまわが家の本棚に落語全集があるのを見つけました。当時その手の本は総ルビでしたから、小学生でも読むことができました。それを二度、三度と読むうちに落語を少し聞くと話が分かるほどでした。好きな落語はいろいろあります。とりわけ聞いたのが『千早振る(ちはやふる)』です。小倉百人一首にある在原業平の「千早振る 神代も聞かず 龍田川 から紅に水くるとは」という歌を聞いた横丁の八五郎が、ご隠居さんにその意味を尋ねます。すると知ったかぶりのご隠居さんが



作家

あとうだ たかし

阿刀田 高 さん

こう言うわけです。「これは龍田川という相撲取りがいて、それが吉原に遊びに行って千早花魁に声を掛けたものの、〈千早振る〉断られてしまう。妹分の神代(かみよ)に声を掛けるが、〈神代も聞かず〉こちらにも話を聞いてもらえない。龍田川は大関になってもこれでは相撲取りなどやっていると故郷に帰り、家業の豆腐屋を継ぐことに。すると何年か経って店先にみすばらしい女が立っていて、おからでもなんでもいいから、恵んでくださいと頼んでくる。その顔を見た元大関は昔自分を袖にした花魁の成れの果てだと分かって〈から紅に〉、お前なんかにおからをやれるか。花魁のほうも昔栄華を誇った自分がこんな田舎の豆腐屋にばかにされて、これはかなわないと〈水くぐる〉井戸に飛び込んで死んでしまったということを読んだ歌なのだ」と。この話が好きだったので、百人一首の下の句も覚えました。私には5歳上の姉がいて、お正月には友だちがやって来てかるた取りをやるわけです。そこに私も加わろうとするのですが、「あんたはどうせ分かっていないのだから、駄目よ」と押し戻されます。『千早振る』一枚知っていてもどうしようもありません。それが悔しくて中学校に上がるころ百人一首を覚えました。

中学2年生の時に、東京の女子大学を出た素敵な方が国語の先生として着任されました。その方は上代の文学を専攻されたらしく、「文法は古典文法からやりましょう」と言われ、四段活用から始まり、上一段、下一段、形容詞、形容動詞の活用あたりまで教えてくださいました。おかげで高校生になると『源氏物語』も原文を読めました。古典にある程度明るくなったのは、元をただせば『千早振る』からです。なかなか良い勉強をしたものだなと思います。さて私は大学に入ったのですが、20歳で肺結核になり、1年半病院

で療養しました。あの病気は何かを食べて寝ているのが一番の療法ですから、時間は余るほどあります。幸い本を読むことに慣れていたので、長い小説を読もうと『チボー一家の人々』を買ったのですが、まったくおもしろくない。それで短いのにしようと思って短編集を買って読んだところ性(しょう)に合っていたらしく、『モーパッサン短編集』『オー・ヘンリー短編集』『チェーホフ短編集』、とにかく作者の名前の下に短編集と付いている文庫本を全部というくらい読みました。その体験が後に小説を書くようになった時に大いに役立ちました。私は大学を卒業しますと、国立国会図書館に勤めました。月給は安かったですが、11年間真面目に勤めまして、そのあと小説家になりました。今から15年前に山梨県立図書館が新しくなるのでそこの代表をやってほしいと口説かれまして、気が進まなかったのですが7年間館長を務めました。ですから私は社会人としての始まりが図書館員で、終わりにもう一度図書館勤めをしたことになります。

これはちゃんと統計を取っているわけではないのですが、図書館や読書に関心を持って生涯を過ごしてきた私が思うに、100人日本人がおりますと、そのうち20人は放っておいても本を読むという一方で、本なんか大嫌いだという人が20人いる。大事なはその間の60人で、その人たちにどうやって本のおもしろさを知ってもらおうかです。一昨年、ガルシア・マルケスというコロンビアの小説家が書いた『百年の孤独』が文庫本になりました。相当な売れ行きで、立派な方々が書評欄で褒めまくりました。この本を私は30年前か40年前に手にしたことがあります。しかし30ページくらい読んだところで、「おもしろくない」と投げ捨てた覚えがありました。識者に20世紀の最高傑作と言われ、尊敬する読書人も褒めていたのもう一度手に取りましたが、やはりおもしろくない。私はおもしろくない本は読まないことを生涯の信条にしていますから、また投げ捨てました。その時ふと思ったのです。この本を先ほど述べた60人に勧めてよいのか。もう少し楽な本を読んだほうがいいのではないかと思います。『銭形平次』や『鞍馬天狗』ではさすがに古いとしても、向田邦子や浅田次郎などいろいろあります。この人たちの本は読んだからと言ってそうそうためになるわけではないけれど、おもしろい。それでいいじゃないかと思います。

生涯最後の主張として申し上げたいのは、読書には2通りあるということです。それは「何かのためになる読書」と「ひたすらおもしろい読書」です。私は無理でしたが、『百年の

孤独』は立派な本なのでしょう。でもそちらにばかり傾くと、真ん中の60人はそんなに楽しくないのではないかと思います。ひたすらおもしろいだけの本もあるのだから、朝日新聞でもNHKでももっと取り上げて、多くの人に本の楽しさを知らせていただきたい。そのほうが社会的に大事ではないかと思います。私は自分がおもしろい本だけを読んできました。どんなに20世紀一番の大作と言われても、読む気にはなりません。今日お集まりの方々には、ご自分が3分類のどれに属するかを考えてほしいと思います。本を見ただけでも蕁麻疹が出るという方は読書が向いていないのですから、ゴルフでも魚釣りでもお好きなことをおやりになってください。私が申し上げたいのは真ん中の60人の方たちです。年齢を重ねると立派じゃない本が楽です。おもしろい本がいっぱいあります。「生涯三度愛読小説」というのがありまして、人は良い本に人生で3度巡り合うチャンスがあります。この頃の新しい図書館ではどこでも一番目立つ大事な場所に子どものための部屋をつくり、そこで子どもたちは夢中になって本を読んでいます。子どもの本は絵が入っていたり、装丁が立派だったりするので、高価なものが多いのですが、中身は本当に良いものがたくさんあります。次は自分たちの子どもに本を読んで聞かせる。親が読んでくれると子どもたちは目を輝かして聞いています。これが2度目のチャンスです。そして3度目は70代、80代です。自分が昔読んでいた本を手にとると、独特の懐かしさが蘇ります。幼い日のその本に触れた時の感触、自分が子育てしていた時の景色が思い出されます。

日本には世界で一番誇れるものがあります。地面を掘っても石油は出ない。山が多くて作物もあまりつぐれない。でも識字率が高いのです。日本人ほど皆が文字を知っている国民はいません。イタリアも、フランスも、イギリスも文明国だと偉そうにしていますが、国民の1%くらい読み書きが不自由です。アメリカも優秀な人はいますが、大統領があつたらうですから文化的には見当がつきます。日本人はご病気の人は除いて、普通の人は読み書きができる。それが日本人の力になっています。このことを私たちは誇りに思って、大事にした方がよいのではないかと。普通の人でも一つづらいなにかしら特技を持っているものです。私の場合は、生まれつきおもしろい本を読んで喜ぶという才能に恵まれました。それを生涯享受してここまで来ました。そういう一生であったということの皆様にお話して、私の卓話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

山の手東グループ合同例会開催

4月22日(水)、国際ロータリー第2750地区山の手東グループ合同例会が、ホテルニューオータニ鳳凰の間で開催されました。参加人数は、総勢263名、このうち東京恵比寿RCからの参加者は19名でした。

11時30分、東京西RC会長、曾我道治氏の点鐘から始まり、山の手東グループガバナー補佐、久保弘憲氏の開会挨拶、第2750地区ガバナー田中靖氏のガバナーご挨拶と続きました。その後、山の手東グループ12クラブの各会長による本年度の指針と実績についての発表が行われました。卓話は、ジャーナリストの岩田明子氏による『日本を取り巻く国際情勢と政治環境と平和の視点から』。トランプ政権と日本との関係など、中身の濃いものになりました。13時35分に東京六本木RC会長、平川彰氏による閉会点鐘により、盛会のうちに幕を閉じました。



合同例会 会長あいさつ

2025-2026年度
東京恵比寿RC 会長

徳江 陽子 さん

クラシックピアニストがクラブ会長とは少々珍しい事ですので、私は今期のクラブテーマを「五感でロータリーを楽しもう」と致しました。

さて昨年10月28日には創立30周年記念式典を開催致しました。スポンサークラブの東京西クラブをはじめ他クラブ大勢の皆様から祝していただき、また当時現役文化庁長官、都倉俊一氏の講演内容が奥深いものでしたので好評のうちに終了出来ました。クラブの歴史の一区切り、事務局も交代し、現在はクラブメンバー全員で意見・情報を共有しあい責任をもって活動しています。4つの奉仕活動も当クラブは長年にわたって沢山行っております。

当クラブの特徴は、創立以来「女性も輝く活躍を」でしたが、もはや日本にも女性総理が生まれる時代となりました。現状自分も含め機械に疎い高齢層メンバーを、今期入会したAIの操作のプロの若いメンバー達がカバーしてくれる希望が見え始めました。今まで通り凛としたクラブであり続けながら、将来へのビジョンは「AIにたけたクラブ」といたしたく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「フェンシング特別練習会」見学報告

社会奉仕委員会 委員長 川中 清昭さん

東京恵比寿ロータリークラブの30周年記念奉仕プログラムとして渋谷区にフェンシング用具を寄贈しました。渋谷区スポーツ協会の阪野様からのご招待で3月27日(金)、フェンシング特別練習会を見学する機会を得ました。当日、徳江会長、神山会員、稲生有伎子副委員長、黄舜範会員、川中の5名で見学してきました。フェンシング経験者である神山会員の解説とパリオリンピックの金メダリスト飯村一輝(いむらかずき)選手を迎え、迫力ある実演と指導、練習の様子を見学しました。“東京恵比寿ロータリークラブ”のロゴを纏った練習着は想像以上に立派で素敵でした。

一般財団法人渋谷区スポーツ協会、阪野弘和様からのご案内をご紹介します。『9月に活動を開始したシブヤユニテッドフェンシングクラブ青山は、おかげさまで現在32名の会員が在籍するまでに成長いたしました。設立当初は用具が十分に揃っておらず、活動の継続や受け入れ人数にも制約がある状況でしたが、ご寄付いただいた道具のおかげで、子どもたちが気軽にフェン



シングを始められる環境を整えることができました。特に、初期費用の負担が軽減されたことで、「やってみたい」という子どもたちの想いを実現する機会を広げることができております。現在も、ご寄付いただいた道具を活用しながら、多くの子どもたちがフェンシングに挑戦しております。改めまして、温かいご支援に心より感謝申し上げます。また、贈呈式の際には入荷待ちとなっておりましたフェンシング専用コート「ピスト」につきましても、このたび無事に納品されましたことをご報告申し上げます。実際にピストを使用した練習では子どもたちから「オリンピック選手と同じような環境で練習できる」といった声も上がり、より高い意欲を持って日々の練習に取り組んでおります。』



ニコニコBOX



榎本 ミナさん

本日は東京六本木ロータリークラブの堀井さんがチャーミングな

ニコニコの顔のGoodsをわざわざお届けにきて下さいました。

誠にありがとうございます。これからは恵比寿ロータリーのニコ

ニコBOXの顔として使わせて頂きます♡

松島 トモ子さん

阿刀田高様をおむかえ出来て夢のようです。ありがとうございます

ます。

橘高 薫子さん

こんにちは。非公認同好会「映画同好会」です。6月10日(水)

18:30～上川隆也さん藤原紀香さん主演の舞台を観にいき

ます。参加希望ございましたら映画同好会メンバーまでご連絡

くださいませ！

横町 俊智さん

日々、暖かくなってきました。本日は阿刀田高先生の卓話を楽しみ

にしております。

徳江 陽子さん

本日は、阿刀田高先生の卓話を大変に楽しみに致しておりました。

そしてゲスト・ウェルカムデーです。ゲストでお越しの方、どうぞ

クラブ活動をエンジョイして下さい。

前回まで 1,567,420円

4月14日 5名 合計 25,000円

年度合計 1,592,420円

本日もご協力いただきありがとうございました。

事務局より連絡

事務局メールアドレス

代表 office@ebisurc.org

飯澤 (月～金 10:00-17:00) office3@ebisurc.org

松川 (月・火・金 13:00-16:00) office2@ebisurc.org

\$ 5月のRIレート 1ドル 160円

Rotary
東京恵比寿ロータリークラブ



事務局 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-20-2-912

TEL 03-5420-6801 FAX 03-5420-6802 URL http://ebisurc.org

会長/徳江 陽子 幹事/横町 俊智 週報委員長/丸山 勝 副委員長/花房 幸範 委員/古川 孝蔵
佐藤 康 妹尾 八郎 南谷 えり子 和田 勝美

例会日:毎週火曜日 12:30 ~ 13:30 例会場:ウェスティンホテル東京